

## 第64回（2026年度）学術研究奨励金(研究助成)の対象決定

公益財団法人 三島海雲記念財団(理事長 羽田 正、所在地 東京都渋谷区)は、第64回(2026年度)学術研究奨励金(研究助成)の対象を決定しました。贈呈式は7月10日(金)に東京會館(東京都千代田区)にて行います。

今年度の奨励金交付総数は96件、総額は1億5,964万円です。対象者と助成研究については、次頁以降をご参照ください。これにより1962年度から2026年度までの累計助成金額は22億3,856万円、延べ2,501件になります。

### 今回の学術助成金額

	自然科学分野 件数・額	人文科学分野 件数・額	合計 件数・額
個人研究	38件 5,700万円	46件 4,471万円	84件 10,171万円
共同研究	8件 3,831万円	4件 1,962万円	12件 5,793万円
合計	46件 9,531万円	50件 6,433万円	96件 1億5,964万円

今回助成される皆様の中から、将来の三島海雲学術賞が輩出されることを期待しています。

### 三島海雲記念財団について



財団創設者 三島海雲

当財団は、自然科学、人文科学に関する教育、研究を援助奨励し、もってその成果の普及を図り、学術、文化の向上、国民生活の充実に寄与することを目的としています。カルピス株式会社創業者の三島海雲が1962年(昭和37年)に全資産を投げ設立しました。

この目的に基づき、社会貢献の一端を担う学術支援活動をこれからも一層推進してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人 三島海雲記念財団

(担当：青山)

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-6-10 ジラッフアビル

Tel：03（5422）9898

e-mail：mishimak15@mishima-kaiun.or.jp

URL：https://www.mishima-kaiun.or.jp

2026年度学術研究助成 研究課題および対象者一覧

【自然科学分野】 個人研究 38件 / 1件 150万円の助成

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	食と睡眠を関連付ける視床下部神経ペプチドの作用メカニズム解明	伊澤 俊太郎	Max Planck Institute for Metabolism Research Neuronal Control of Metabolism	Postdoctoral Fellow
2	食物繊維による腸管上皮-神経-免疫軸の制御機構の解明と中枢神経疾患制御への応用	石井 南葵	広島大学大学院 統合生命科学研究科	博士課程
3	視床下部における情動と代謝恒常性の統合制御	板倉 拓海	カリフォルニア工科大学 Biology and Biological Engineering	博士研究員
4	DNAメチル化に基づく食品脂質依存性腸内細菌定着受容性指標の確立	植村 逸平	北海道科学大学 薬学部	助教
5	宿主由来マイクロRNAによる腸内発酵制御のメカニズム	逢坂 文那	北海道大学大学院 基盤研究部門	助教
6	食品由来ゼラチンとヒアルロン酸を用いたがん患者の再生医療と食機能回復の研究	大塚 裕太	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科	助教
7	病原体感染応答から読み解く腸内細菌叢の競合的排除メカニズムの解明	岡田 彩加	岐阜大学 応用生物科学部	准教授
8	糖鎖修飾を介したHDL受容体SR-BIのリガンド選択性制御と食事応答性の解明	風岡 顕良	大阪医科薬科大学 薬学部	特任研究員
9	微絨毛先端タンパク質TMC4/5による腸上皮増殖と分化制御機構の解明と腸管再建への応用	梶岡 大暉	University of Virginia Department of Molecular Physiology and Biological Physics	Postdoctoral Research Associate
10	皮膚局所環境シグナルによる免疫・脂質代謝統合制御と皮膚バリア恒常性維持機構の解明	北野 隆司	近畿大学 産業理工学部	准教授
11	食事由来脂質による大腸癌発癌機序の解明	桐野 桜	東京科学大学大学院 医歯学総合研究科	博士課程
12	矮鶏の従順性を促進するロイテリ菌がおよぼす腸内環境への影響	後藤 達彦	帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター	准教授
13	水溶性食物繊維代謝産物による腸上皮分化制御とサルコペニア肥満改善機構	阪井 貴美子	京都府立医科大学大学院 医学研究科	博士課程
14	食環境によって顕在化する「隠れた」遺伝子制御異常の同定	坂上 沙央里	University of Washington Department of Genome Sciences	Assistant Professor
15	絶食が誘導するIgA結合細菌叢の生物学的意義解明と腸内細菌利用糖による制御	佐藤 謙介	東北大学大学院 医工学研究科	特別研究員
16	ワイン用ブドウのフェノール成熟度を最適化する、低コスト型品質管理基盤の構築	Swe Khin Nilar	東京大学大学院 農学生命科学研究科	助教
17	父親の鉄栄養が次世代を規定するエピゲノム機構の解明	鈴木 智大	群馬大学 生体調節研究所	助教
18	食由来脂肪酸による毛包恒常性制御機構の解明	SEO JIEUN	横浜国立大学大学院 工学研究院	助教
19	ビフィズス菌における有機酸産生制御機構の解明	高田 紘翠	大阪公立大学大学院 農学研究科	助教
20	不活動下におけるアミノ酸同化応答を制限する翻訳制御機構の解明	竹村 藍	立命館大学 総合科学技術研究機構	助教
21	食事由来ドコサヘキサエン酸リン脂質の分子構造が神経機能に与える影響の解明	田中 誠也	東京海洋大学 学術研究院 食品生産科学部門	助教
22	コリン再生酵素全身欠損によるコリン欠乏症モデルマウスの作製	陳 思亦	広島大学大学院 統合生命科学研究科	博士課程
23	閉経前後の内分泌変動下における腸内細菌叢変容と食事・栄養背景との相互関係の解明	露木 香	京都大学大学院 医学研究科	博士課程
24	食物繊維を介した腸管バリア機能強化による心不全予防メカニズムの解明	DINA MUSTIKA RINI	広島大学大学院 統合生命科学研究科	助教
25	穀物ペプチドによる小腸糖輸送体SGLT1活性抑制および食後血糖値上昇抑制機構の解明	二宮 和美	群馬大学大学院 理工学府	助教

(自然科学分野 個人研究の続き)

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
26	極限環境微細藻類の生産する多糖類のプレバイオティクス特性の解明	久野 桃子	Purdue University Department of Biological Sciences	博士課程
27	食を介した胎児期代謝制御と神経発達・行動関連の疾病予防モデル開発	福島 穂高	東京農業大学 生命科学部	准教授
28	ガス分子群と内部品質指標の対応付けによる熟成予測・制御フードセンシング基盤の構築	本田 陽翔	東京大学大学院 工学系研究科	助教
29	振動光法と蛍光寿命解析の融合によるオリーブオイル品質評価技術の開発とその応用	馬 特	名古屋大学大学院 生命農学研究科	助教
30	不溶性食物繊維の価値を、繊維分解菌とその分解産物の生理作用に着目して再検討する	三浦 広卓	北海道大学大学院 農学研究院	助教
31	温州みかん由来植物マイクロRNAが生物種を越えて発揮する生体調節作用の解明	村田 希	愛媛大学大学院 農学研究科	特任講師
32	シナチクノメイガ食害による京たけのこの品質・安全性評価とフェロモン防除基盤の構築	森山 太介	京都先端科学大学 バイオ環境学部	嘱託講師
33	BST1を介したNRの代謝ハブ機能によるヌクレオシド合成経路の解明	夜久 圭介	富山大学 学術研究部 医学系	准教授
34	プトレシンが食中毒菌の腸管内定着を規定する機構の解明とリスク低減介入の探索	山崎 浩平	北里大学 獣医学部	講師
35	腸内細菌代謝物ILAによる樹状細胞制御とNrf2機能不全下における抗炎症作用	山下 二矢	東京理科大学大学院 先進工学研究科	博士課程
36	stx遺伝子を指標としたファージベース迅速検出法の開発	山下 和可奈	早稲田大学大学院 先進理工学研究科	博士課程
37	肝臓による栄養資源分配の神経支配機構の解明	山田 達也	University of Nebraska - Lincoln Department of Biochemistry	Assistant Professor
38	胆石症モデルマウス由来胆嚢オルガノイドを用いた食環境と胆道機能の関係と病態解析	山本 晴	東京農工大学大学院 農学府	博士課程

【自然科学分野】 共同研究 8件 / 1件 331~500万円の助成

No.	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	微生物発酵茶成分アデノールによる脂肪組織線維化抑制を介した生活習慣病予防	刀坂 泰史	静岡県立大学 薬学研究院	准教授
2	母乳中OPGによる「腸-骨軸」プログラミング機構とその意義の解明	木村 俊介	北海道大学大学院 薬学研究院	教授
3	動的構造にもとづく味覚受容体のシグナル制御メカニズムの解明	幸福 裕	東京大学大学院 薬学系研究科	講師
4	大規模脳画像データと脳活動計測を用いた超加工食品による摂食制御の攪乱機序の解明	中村 優子	東京大学大学院 総合文化研究科	准教授
5	ピペリンによるミオシン構造変化作用は運動不足解消をもたらす"運動模倣薬"となるか？	福谷 充輝	新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科	准教授
6	食事由来ポリアミンによる筋萎縮制御機構の解明	三浦 進司	静岡県立大学 食品栄養科学部	教授
7	脂質代謝と協調する分泌経路制御機構の解明	水池 彩	国立感染症研究所 品質管理研究センター	主任研究員
8	乳児の栄養・睡眠・排泄リズムの相互作用の解明	米澤 かおり	東京大学大学院 医学系研究科	講師

(所属機関・役職は申請時、敬称略)

2026年度学術研究助成 研究課題および対象者一覧

【人文科学分野】 個人研究 46件 / 1件60～100万円の助成

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	アジア系移民における国民アイデンティティの形成と受容	池内 里桜	大阪大学 国際公共政策研究科	博士課程
2	郭沫若の戦後対日問題と実践—1950年代岡山と平和・学術交流	池田 尚広	杏林大学 外国語学部	専任講師
3	アーカイブ画像を活用した内モンゴル・ラクダ牧畜の現代的技術形成に関する研究	WU WUYUNGA	総合研究大学院大学 文化科学研究科	博士課程
4	内モンゴル・アラシャ盟における僧院外の仏教実践の再編過程—文化人類学的研究—	WUNIER SAIHAN	総合研究大学院大学 先端学術院人類文化研究コース	博士課程
5	明清時代官立儒教学校の成立と展開	王 一臻	東京大学大学院 工学系研究科	博士課程
6	ブツダガヤ出土奉獻板の蒐集・移動史と美術史的再評価—近代日本を中心に—	太田 小雪	早稲田大学 文学学術院	助手
7	比田井天来の国語国字問題への対応を、書道とナショナリズムの関係から考察する。	柯 輝煌	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
8	ジェンダー秩序の視点からみる中越国境地帯における越境少数民族への国家の影響	柯 輝佳	上智大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科	博士課程
9	奄美出身者の越境移動の類型化—郷友会名簿・記念誌と新聞資料による基礎研究—	加藤 里織	神奈川大学 非文字資料研究センター	客員研究員
10	日本占領下フィリピンの文学と翻訳の研究：陣中雑誌『南十字星』を視座として	金子 聖奈	早稲田大学 文学学術院	助教
11	ベトナムの創造性と場をめぐる社会学的研究：クリエイティブ・ハブにおける交渉から	金子 望美	東京都立大学大学院 人文科学研究科	博士課程
12	福祉サービスの歴史的形成：戦後日本の傷痍軍人を事例とした実証研究	吉良 光冬	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	博士課程
13	〈非国民〉の吊いの政治文化史—19世紀末～20世紀半ばの日本・植民地を中心に—	胡 安美	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
14	東アジアにおける宋遺民・季用の受容と記憶—中世日本儒学形成と近代中国評価について	顧 嘉晨	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程
15	戦間期におけるアジア主義と社会運動	辜 傲然	名古屋大学大学院 人文学研究科	博士課程
16	近世東アジアにおける食物本草書思想史的研究	向 静静	立命館大学 アジア・日本研究所	准教授
17	バガンにおける地下の宗教建築の空間構成に関する基礎的研究	小島 陽子	日本大学 理工学部	助教
18	方言百科事典の構築による新島方言ドキュメンテーションと市民科学者育成の実践研究	西郷 太一	総合研究大学院大学 先端学術院日本語言語科学コース	博士課程
19	インド伝統医学における養生法の文献学的研究—古典医学書と現代の実践法の比較—	榮 惟樹	九州大学大学院 人文科学府	博士課程
20	食の場から問い直す多文化共生—移民フードビジネスの結節点機能の比較民族誌	櫻田 涼子	育英短期大学 現代コミュニケーション学科	准教授
21	中国貴州省スイ族における植物知識体系に関する文化人類学的研究	周 頡	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
22	日本統治下の台湾で活躍していた台湾人作家による戦後の文学活動	白井 魁	一橋大学大学院 言語社会研究科	博士課程
23	植民地期朝鮮における「美術」概念の形成—美術雑誌『美術及工藝』（1917）を中心に	辛 銀珠	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
24	モンゴル政治文化とトゴン・テムル政権—奇皇后、宦官からみる元衰退の実像—	高橋 一生	龍谷大学大学院 文学研究科	博士課程
25	『ヒンドゥー聖法の争点解決』を中心とした通時的分析と未刊写本ディプロマ版電子校訂	谷口 力光	名古屋大学大学院 人文学研究科	研究員(PD)

(人文科学分野 個人研究の続き)

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
26	自衛隊イメージの文化社会学的研究：防衛技術表象との連関の解明	塚原 真梨佳	立命館大学 アジア・日本研究所	専門研究員
27	東日本大震災が被災地の離婚や家計内不平等に与えた影響に関する実証的・理論的研究	辻山 仁志	University of Surrey School of Social Sciences	Associate Professor
28	イスラーム型扶助の論理と動態——現代マレーシアのワクフを事例に	筒井 華子	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程
29	中国のWTO加盟をめぐる交渉過程：西側諸国に占める日本の役割に着目して	東郷 雄太	神戸大学大学院 法学研究科	博士課程
30	古代日本における「徒刑」成立過程の分析—東アジア世界の労役刑とケガレ意識の融合	永井 瑞枝	お茶の水女子大学 コンピテンシー育成開発研究所	協力研究員
31	戦時期日本における女性の科学動員：科学教育に着目して	中原 理沙	大阪大学 グローバル・アドミSSIONズ・サポートオフィス	特任助教
32	新羅女性史の基礎的研究—仏教関連金石文を中心に	橋本 繁	韓国国立慶北大学校 人文学術院	HK研究教授
33	近代日本における一燈園の展開過程の研究	藤井 麻央	大谷大学 真宗総合研究所東京分室	研究員
34	ジャイナ教における他者理解と多面的真理説	堀田 和義	駒澤大学 仏教学部	専任講師
35	パレスチナ人殉教者の実存——対イスラエル襲撃作戦を巡る語りの分析	間瀬 優太	慶應義塾大学大学院 法学研究科	博士課程
36	パンデミックにおける差別言説の連続性と変化—インフルエンザとCOVID-19の比較分析	松岡 勇人	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科	博士課程
37	「長い1960年代」における中央アジア映画人の主体的自己表象の構築過程の歴史的解明	松元 晶	北海道大学大学院 文学院	博士課程
38	「朝鮮雅楽」の保存と振興：「朝鮮雅楽」をめぐる「記録」と「記憶」の分析を中心に	武藤 優	北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院	学術研究員
39	東アジア諸地域における『円覚経』の展開及び圭峰宗密の思想史上における立場の解明	森原 康暉	東洋大学大学院 文学研究科	博士課程
40	日本におけるジェンダー・セクシュアリティに関するテレビ番組制作者の経験	柳下 明莉	オタゴ大学 ジェンダースタディーズ	博士課程
41	中国仏教を代表する華嚴教学を大成した法蔵の、理論と実践の統合的思索の解明。	柳下 實悠	早稲田大学大学院 文学研究科	博士課程
42	天皇と「多民族協和」：昭和大礼をめぐる宣伝と受容の東アジア的交錯（1927-1929）	楊 媛淇	早稲田大学大学院 社会科学研究科	博士課程
43	可遺伝的ヒトゲノム編集の規制体系における刑法の役割—日中比較研究を中心に	李 雪夢	大阪大学大学院 法学研究科	博士課程
44	揺らぐ鎖国秩序と「弱者の外交」：文化四年唐船漂着史料群の総合分析	劉 洋	国際日本文化研究センター 総合情報発信室	特任助教
45	混乱に生まれる秩序：ミャンマー国境地域における特殊詐欺拠点の拡大	渡邊 康太	New York University Wagner Graduate School of Public Service	Visiting Scholar
46	モンゴル帝国期イランの財政・財務運営システムとポスト・モンゴル期へのその影響	渡部 良子	東京大学 文学部	非常勤講師

【人文科学分野】 共同研究 4件 / 1件 462~500万円の助成

No.	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	アジア紛争後地域における農業・食料システム再生と和解プロセス比較研究	鴨下 顕彦	東京大学大学院 農学生命科学研究科	教授
2	中央アジアにおける拝火儀礼の起源と展開に関する実証的研究	久米 正吾	金沢大学 古代文明・文化資源学研究所	客員研究員
3	中央アジア諸国における憲法体制の動態に関する研究	柴田 正義	阪南大学 国際学部	准教授
4	アジアのなかの近世仏教：仏教論理学（因明）をめぐる交流を中心に	師 茂樹	早稲田大学 文学学術院	教授

(所属機関・役職は申請時、敬称略)